



新たな公共施設予約システムの運用を開始します

市では、公共施設の利用者の利便性向上や施設管理者の負担軽減を図るため、生涯学習施設や振興センター、体育馆など公共施設のオンライン予約ができるシステムをリニューアルし、本日から運用を開始します。オンラインから便利に使える新システムを是非ご利用ください。

なお、施設の予約は、これまでどおり各施設の窓口や電話で行うこともできます。

1 新システムでどんなことができるの？

新システムは、これまでの施設予約システムでも可能であった、施設の予約に加えて、以下のことがオンラインでできるようになります。

- ・ システムを利用するため事前に「利用者登録」
- ・ 施設の利用申請書の提出、利用許可書の受領
- ・ 施設を予約するため「抽選」の申し込みや、その結果通知の受領
※現在、抽選を行っている総合体育馆や市民体育馆、まなび学園のみ
- ・ 使用料金の支払い (PayPay、ペイジー、クレジットカード、コンビニ払いに対応)
※振興センターなど一部施設は準備ができ次第、順次導入

このほか、複数の部屋の空き状況を同時に確認することができるようになるなど、画面の見やすさや操作性が向上しています。

2 新システムはいつから、誰が使えるの？

新システムは、本日2月2日（月）午後3時ころにインターネット上に公開します。ただし、3月1日（日）までの1カ月間は、新システムを利用したい人が「利用者登録」を行うための期間とします。

この期間中は、新システムで施設の空き状況の確認はできますが、施設の予約をすることはできません。この期間中、施設の予約を行いたい場合は各施設の窓口や電話でお願いします。

新システムでの施設の予約開始は、3月2日（月）を予定しています。

2/2（月）

3/2（月）

公開（プレ運用）

予約開始（本格運用）

利用者登録・空き状況の確認のみ可能

施設の予約等も可能となる

なお、より多くの市民の皆さんがあなたが市内の公共施設を利用できるよう、当面の間、新システムを使うことができるところは以下のとおり市民等に限定させていただきます。

- ◆花巻市在住、在勤、在学の人
- ◆5人以上で構成、かつ、1/2以上が花巻市在住、在勤、在学のことで構成される団体

3 市民説明会を開催します

以下の日程で新システムの利用方法や利用者登録の方法についての市民説明会を開催します。申し込みは不要です。また、どの日程でも説明内容は同じです。

日時	会場
2/5（木）18：30	大迫交流活性化センター
2/6（金）18：30	まなび学園
2/12（木）18：30	石鳥谷生涯学習会館
2/13（金）18：30	東和コミュニティセンター

参考) 新システムの対象施設 全79施設

◆振興センター・集会所 (26施設)

松園振興センター
花北振興センター
花南振興センター
湯口振興センター
自然休養村センター
湯本振興センター
矢沢振興センター
宮野目振興センター
太田振興センター
笹間振興センター
大迫振興センター
内川目振興センター
外川目振興センター
亀ヶ森振興センター
好地振興センター
大瀬川振興センター
八日市振興センター
八幡振興センター
八重畠振興センター
新堀振興センター
東和コミュニティセンター
小山田振興センター
成島振興センター
浮田振興センター
谷内振興センター
田瀬振興センター

◆地区社会体育館など (23施設)

花北地区社会体育館
花南地区社会体育館
湯口地区社会体育館
湯本地区社会体育館
矢沢地区社会体育館
宮野目地区社会体育館
宮野目体育センター
太田地区社会体育館
笹間地区社会体育館
西南地区社会体育館
大迫労働安全衛生施設
外川目地区社会体育館
亀ヶ森地区社会体育館
外川目グラウンド
亀ヶ森グラウンド
ビバハウスいしどりや
大瀬川構造改善センター
八日市構造改善センター
八幡交流センター
新堀ふれあいセンター
成島地区社会体育館
谷内地区社会体育館
田瀬地区社会体育館

◆スポーツ施設 (22施設)

花巻市総合体育館
日居城野テニスコート（クレー）
日居城野テニスコート（人工芝）
日居城野多目的コート
日居城野多目的広場
日居城野陸上競技場
花巻球場
花巻市民体育館
大迫体育館
大迫野球場
大迫テニスコート
石鳥谷体育館
石鳥谷柔剣道場
石鳥谷アイスアリーナ
石鳥谷ふれあい運動公園
石鳥谷野球場
二枚橋体育館
東和体育館
和田多目的広場
東和農業者トレーニングセンター
毘沙門ドーム
東和ふれあい広場（ゲートボール場）

◆文化、生涯学習施設 (5施設)

花巻市定住交流センター
生涯学園都市会館（まなび学園）
文化会館
花巻市交流会館
石鳥谷生涯学習会館

◆斎場 (3施設)

大迫斎場
石鳥谷斎場
東和斎場

※斎場は空き状況の公開のみ
オンライン予約等は不可

本システムの導入にあたっては、国の「新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型）」を活用しました。

対象事業費 16,040千円 (うち、交付額 8,020千円)